

復活節の典礼に従って

主任司祭 吉池好高

今回は、四月五月合併号をお届けいたします。この間、教会暦は復活節を祝ってきました。復活節の主日の福音は復活された主の弟子たちへの数度に渡る訪れを繰り返し語っています。これらの復活された主の訪れに接して、弟子たちは次第に主が本当に墓の中から蘇られたことを信じていることができるようになったのでした。洗礼を受けて教会の信仰の世界に導き入れられたわたしたちも復活節の典礼に与ることによって、主の復活の神秘をより深く理解してゆく恵みを願いたいと思います。

復活された主が弟子たちにご自分が生きておられることを示してください。知らなかったなら、彼らは主が復活されたことを知ることができなかったことでしょう。そうであるなら、彼らは自分たちが彼らの主イエスにかけた期待のすべては無に帰してしまっただけと思わざるを得なかったことでしょう。部屋の戸に鍵をかけて閉じこもっていた弟子たちの目の前に現れた十字架の傷跡をその身に負った復活の主は、彼らに「あなた方に平和」と語りかけてくださるのです。そのお声を聴いた時、弟子たちは、心底喜びに満

たされたのでした。十字架上の主を見捨てて、自分たちの身の安全にきゅうきゅうとしていた自分のすべてを知っておられる主は、一言の咎めだでもなさらず、「あなた方に平和」と言うてくださっている。弟子たちは自分たちが見捨てた主に赦されていることを知ったのです。自分たちのあの裏切りにも関わらず、主との絆は断ち切られていないことを知ったのです。こうして、彼らは、あの最初の出会いの時に戻って、新たにイエスの弟子として歩み始める資格を与えられたのです。今度こそ、どんなことがあっても、主イエス・キリストの弟子として生きる決意を新たにすることができたのです。

福音書に語られている弟子たちの復活の主との出会いの物語は、イエス・キリストを、わたしたちの主と信じる教会の信仰を受け継ぐわたしたちの物語でもあります。

この復活祭に、洗礼をお受けになられた新しい兄弟たちとともにどこまでも、主に従って歩みとおす決意を新たにいたしましょう。そのような私たちに「あなた方に平和」主はこう言っておられます。